

福岡食育健康都市づくり地域協議会 謝金の支払に関する規程

平成２８年２月２５日 制定

平成２８年１２月２日 改正

（目的）

第１条 この規程は、福岡食育健康都市づくり地域協議会（以下「協議会」という）が支払う謝金について必要な事業を定めることを目的とする。

（謝金対象者）

第２条 協議会の会員および事務局員以外の者をこの規程による謝金対象者とする。ただし、会員が有識者として講演又は協議会が特に設置する専門部会等への委員として招聘を行う場合には、謝金対象者とする。

（謝金の対象となる会議）

第３条 謝金の対象となる会議は、会長が協議会の業務の遂行にとって必要もしくは有益であると判断し許可した会議とする。

（会議出席謝金）

第４条 第３条に定める会議に出席した第２条に定める謝金対象者には、対価として謝金を支払うことができる。

（原稿執筆謝金）

第５条 協議会の運営及び活動に必要な原稿を執筆した者には、対価として謝金を支払うことができる。

（講師謝金）

第６条 協議会の運営及び活動に必要な講座等の講師をした者には、対価として謝金を支払うことができる。

（専門家謝金）

第７条 医師や看護師等の専門家による協議会の運営及び活動への対価として謝金を支払うことができる。

（会議出席謝金の単価）

第８条 会議出席謝金の単価は、別表に定める額による。会議出席謝金は、１時間を単位

として支給し、会議時間に60分未満の端数が生じたときは、1時間に切り上げて処理するものとする。また、会長は、必要に応じて会議出席謝金の単価を減額又は増額することができる。

（原稿執筆謝金の単価）

第9条 原稿執筆謝金の単価は、原稿の文字数を400字詰に換算し、400字詰当たり1,400円を限度とする。なお、400字未満は400字に切り上げて処理するものとする。また、会長は、必要に応じて原稿執筆謝金の単価を減額又は増額することができる。

（講師謝金の単価）

第10条 講師謝金の単価は、1講演あたり50,000円以内とする。また、会長は、必要に応じて原稿執筆謝金の単価を減額又は増額することができる。

（専門家謝金の単価）

第11条 専門家謝金の単価は、医師の場合半日あたり30,000円以内、看護師の場合半日あたり15,000円以内とし、その他の専門家については半日あたり30,000円以内とする。また、会長は、必要に応じて謝金の単価を減額又は増額することができる。

（交通費及び宿泊費等の実費の支給）

第12条 第2条に定める謝金対象者には、第7条、第8条、第10条及び第11条に定める謝金の単価に加えて、交通費及び宿泊費等の実費相当額を支給する。また、会長は、必要に応じて、交通費及び宿泊費等の実費相当額を減額できる。

別表1（第7条関係）

時間単価		分野別職位等			
区分	時間単価	大学の職位	大学の職位にある者の勤続年数	民間	地方公共団体等
①	11,300	大学学長級	17年以上	会長・社長・役員級	知事・市町村長
②	9,700	大学副学長級			
③	8,700	大学学部長級			
④	7,900	大学教授級1		工場長級	部長級
⑤	7,000	大学教授級2	12年以上	部長級	—
⑥	6,100	大学准教授級		課長級	課長級
⑦	5,100	大学講師級	12年未満	課長代理級	室長級
⑧	4,600	大学助教・助手級		係長・主任級	課長補佐級

⑨	3,600	大学助手級以下 1		係員 1	課員 1
⑩	2,600	大学助手級以下 2	8年未満	係員 2	課員 2
⑪	1,600	大学助手級以下 3	4年未満	係員 3	課員 3

附 則（平成 2 8 年 2 月 2 5 日）

本規約は、平成 2 8 年 2 月 2 5 日から施行する。

附 則（平成 2 8 年 1 2 月 2 日）

本規約は、平成 2 8 年 1 2 月 2 日から施行する。